

I 施設の概要		施設コード		S05-03-01		
施設名	荒川総合スポーツセンター					
所在地	南千住六丁目4番5号					
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
			国・都	区債	一般財源	
	建築	昭和60年	2,930,000			
	増改築①	令和元年	3,406,709	263,233	965,400	2,178,076
	増改築②					
併設施設	南千住野球場					
竣工年月日	昭和60年3月25日			区職員	その他	
供用開始年月日	昭和60年6月2日		職員数		75	
構造	SRC造		階層	地上4階、地下1階		
面積	敷地面積	6,412.09㎡				
	延床面積	12,638.35㎡				
設置目的・経緯	スポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与する					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川総合スポーツセンター条例					
駐車場 の状況	57台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況	208台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ		



管理形態	指定管理	荒川スポーツマネジメント共同事業体	期間	令和7年4月1日 令和12年3月31日	から まで	
事業内容	①管理運営（小体育室、トレーニングルーム、温水プール、ホール、管理事務室、キッズルーム、スタジオ、エアーライフル場、大体育室、卓球場、第1武道場、第2武道場、弓道場、洋室会議室、和室会議室、第12カラオケ室） ②教室・講習会（通年制教室、定期制スポーツ教室、1回制教室、キッズルーム教室、自主事業教室等）					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前8時～午後10時30分				
	休日	1月1日～1月3日、毎月第2水曜日、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
	団体利用者数（人）	207,404	247,303	223,025	258,340	269,000
	個人利用者数（人）	149,059	190,628	215,909	229,207	260,000
	教室受講者数（人）	104,558	121,907	129,738	134,666	156,000
	大体育室稼働率（％）	92	93	94	94	95
	小体育室稼働率（％）	91	89	91	91	93
	教室開催数（回）	6,848	8,354	8,594	8,965	9,144
	教室申込率（％）	56	57	60	62	62
	開館日数（日）	327	354	357	358	347
に指定等 る管理 費	指定管理料（千円）	131,868	142,424	201,620	118,235	141,974
	指定管理者の支出合計（千円）	323,955	347,685	293,226	305,078	343,825
	指定管理者の人件費（千円）	144,324	145,432	142,480	148,336	159,613
	指定管理者の利用料金収入（千円）	170,270	181,457	189,037	216,696	199,907
備考	- 令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用制限を実施した。 - 利用件数については、令和3年度から6年度にかけて回復傾向にある。					

行政コスト計算書	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	行政費用	給与関係費		0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	201,895	121,135	▲ 80,760	国庫支出金		0	0	0		
		維持補修費	0	0	0	都支出金		0	0	0		
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
		補助費等	3,993	1,597	▲ 2,396	使用料及び手数料		4,481	4,512	31		
		減価償却費	174,220	163,318	▲ 10,902	その他		0	99,515	99,515		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)		4,481	104,027	99,546		
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 375,627	▲ 182,023	193,604		
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 654	▲ 647	7				
行政費用合計(b)			380,108	286,050	▲ 94,058	通常収支差額(c)+(d)=(e)			▲ 376,281	▲ 182,670	193,611	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0				
特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)			▲ 376,281	▲ 182,670	193,611	
貸借対照表	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	186,673	186,674	1			
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0			
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	186,673	186,674	1			
	固定資産	有形固定資産	3,875,075	3,694,413	▲ 180,662	賞与引当金	0	0	0			
		土地	1,055,377	1,055,377	0	その他の流動負債	0	0	0			
		建物	6,313,992	6,313,992	0	固定負債	1,167,387	980,712	▲ 186,675			
		建物減価償却累計額	▲ 3,561,186	▲ 3,719,392	▲ 158,206	特別区債	1,167,387	980,712	▲ 186,675			
		工作物等	96,066	75,961	▲ 20,105	退職給与引当金	0	0	0			
		工作物等減価償却累計額	▲ 29,174	▲ 31,526	▲ 2,352	その他の固定負債	0	0	0			
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	1,354,060	1,167,386	▲ 186,674			
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	2,526,451	2,531,311	4,860			
		その他の固定資産	5,436	4,284	▲ 1,152	正味財産の部合計	2,526,451	2,531,311	4,860			
		資産の部合計	3,880,511	3,698,697	▲ 181,814	負債及び正味財産の部合計	3,880,511	3,698,697	▲ 181,814			
備考	行政費用の物件費は、委託料(指定管理料)が多くを占めている。令和6年度は感染症の影響による、減収補填額の指定管理料への上乗せを実施していなかったため、物件費が減少した。その他行政収入は、令和7年度分の前受金、令和5・6年度の指定管理料の返還により増加した。											

I 施設の概要		施設コード	S05-03-02	
施設名	荒川遊園スポーツハウス			
所在地	西尾久八丁目3番1号			
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)	
			国・都	区債
	一般財源			
建築	平成5年	3,070,000		
増改築①				
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	平成5年6月24日		区職員	その他
供用開始年月日	平成5年7月26日	職員数		70
構造	RC造(一部S造)	階層	地上3階、地下1階	
面積	敷地面積		4,174 m ²	
	延床面積		4,493 m ²	
設置目的・経緯	広く区民の利用に供し、区民の健康の増進と体力の維持向上を図るとともに、スポーツの振興に寄与する。			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川遊園スポーツハウス条例			
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ
駐輪場の状況	45台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ



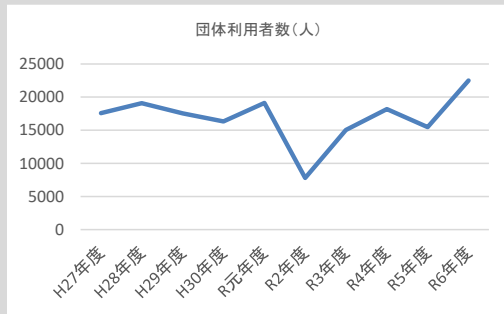
管理形態	委託	株式会社日新ウエルネス	期間	令和7年4月1日 令和8年3月31日	から まで	
事業内容	①出張スポーツ教室運営業務（定期制教室、1回制教室、イベント等） ②屋外体育施設の受付等業務 ③仮設管理事務所の管理業務					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後8時30分				
	休日	改修工事に伴う休館（令和7年3月から令和9年3月（予定）まで）				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
	団体利用者数（人）	15,025	18,184	15,484	22,500	-
	個人利用者数（人）	53,976	66,845	72,647	70,812	-
	教室受講者数（人）	44,916	50,713	52,295	54,372	4,400
	アリーナ稼働率（％）	38	48	52	60	-
	会議室稼働率（％）	11	12	12	16	-
	教室開催数（回）	2,279	2,532	2,563	2,554	343
	教室申込率（％）	53	46	48	49	50
	開館日数（日）	310	355	351	350	-
	委託料（千円）	92,411	92,848	90,805	91,046	24,468
に指定等管理費						
備考	令和2～3年度は、コロナ禍前と比較し利用者数が減少したが、令和6年度の個人利用者においては、コロナ禍前の8割程度で推移しており、回復傾向にある。なお令和7年度は大規模改修工事に伴い、近隣の公共施設を利用した出張スポーツ教室を開催し、健康増進と体力の維持向上を図るための運動機会の確保に努めている。					

行政コスト計算書	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	行政費用	給与関係費		0	0	0	行政収入	地方税等		0	0	0
		物件費	154,554	147,915	▲ 6,639	国庫支出金			0	0	0	
		維持補修費		0	0	0		都支出金		0	0	0
		扶助費		0	0	0		分担金及び負担金		0	0	0
		補助費等	50	0	▲ 50	使用料及び手数料		38,137	35,721	▲ 2,416		
		減価償却費	85,656	85,656	0	その他		261	287	▲ 2,390		
		不納欠損・賞倒引当金繰入額		0	0	行政収入合計(a)		38,398	36,008	▲ 2,390		
		賞与・退職給与引当金繰入額		0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 201,862	▲ 197,563	4,299		
		その他行政費用		0	0	0		金融収支差額(d)		0	0	
行政費用合計(b)			240,260	233,571	▲ 6,689	通常収支差額(c)+(d)=(e)			▲ 201,862	▲ 197,563	4,299	
特別費用(g)				0	0	特別収入(f)				0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)				0	0	当期収支差額(e)+(h)			▲ 201,862	▲ 197,563	4,299	
貸借対照表	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	流動資産	収入未済		0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金		0	0	0		還付未済金		0	0	0
		その他の流動資産		0	0	0		特別区債		0	0	0
	固定資産	有形固定資産	607,992	522,336	▲ 85,656	固定負債	賞与引当金		0	0	0	
		土地		0	0		0	その他の流動負債		0	0	0
		建物	3,111,239	3,111,239	0			0	0	0		
		建物減価償却累計額	▲ 2,503,247	▲ 2,588,903	▲ 85,656		特別区債		0	0	0	
		工作物等	37,588	37,588	0		退職給与引当金		0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 37,588	▲ 37,588	0		その他の固定負債		0	0	0	
無形固定資産			0	0	負債の部合計			0	0	0		
建設仮勘定		44,625	91,395	46,770	正味財産		652,617	613,731	▲ 38,886			
その他の固定資産			0	0	0		正味財産の部合計	652,617	613,731	▲ 38,886		
資産の部合計			652,617	613,731	▲ 38,886	負債及び正味財産の部合計			652,617	613,731	▲ 38,886	
備考	行政費用のうち、物件費は委託料(管理運営等)が多くを占めている。補助費等は、過年度還付金の減によるものである。行政収入のうち、使用料及び手数料は個人使用料及び教室受講料の減によるものであり、その他は自動販売機電気使用料である。											

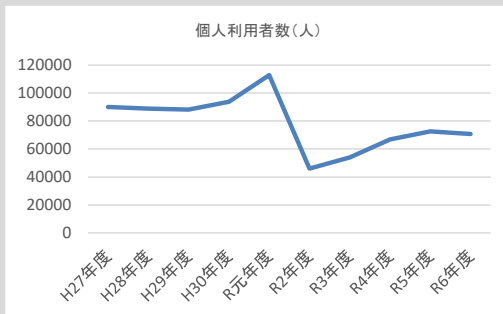
	指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	75	78.0	81	83.4	
	1㎡当たりコスト(円)	71,793	54,442	53,473	51,984	
	受益者負担比率(%)	10	15.0	16	15.3	
	開館1日当たりコスト(円)	1,040,558	689,051	684,501	667,346	
	利用者1人当たりコスト(円)	2,832	1,802	1,711	1,582	
	区民1人当たりコスト(円)	1,498	1,136	1,116	1,085	
備考	令和6年度は、物件費や補助費等の減により、行政費用が減ったため、開館1日当たりコストや利用者1人あたりコスト、区民1人当たりコストが減少している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	利用者数	目標値 実績値	- 113,917	- 135,742	- 140,426	- 147,684	4,400 -
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ○ 現状維持 ● その他(指定管理者制度の導入検討)						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	○尾久地区居住者の利用が多く、地域密着型の施設として利用されている。						
現状・課題	○令和4年度より施設や設備の改修に係る設計に着手し、令和7年度より大規模改修工事を実施。 ○老朽化部分の対応と、バリアフリー環境を目指し、障がい者や高齢者を含めた多くの区民が利用しやすい施設とする必要がある。 ○効率的・効果的な管理・運営方法等の検討が必要である。						
課題に対する現時点での考え	○利用者からの意見・要望を踏まえて、関係機関と打合せを行いながら、障がい者や高齢者向けのスポーツ教室や親子で楽しめるイベントなど、特色のある施設運営や改修による改善を検討する。 ○指定管理者制度の導入を含めて検討を進める。						
議会、利用者等からの意見	令和4年度11月会議 改修の方向性、区の取り組み姿勢について 令和5年度9月会議 休館中の対応について 令和5年度予特 屋内遊び場について 令和6年度決特 物価高騰への対応、休館中のスポーツ教室の実施について						



令和元年度は、荒川総合スポーツセンター大規模改修工事の影響により利用者数が増加した。令和6年度の利用者数はコロナ禍前の平成30年度実績を上回る水準となっている。



令和元年度は、荒川総合スポーツセンター大規模改修工事の影響により利用者数が増加した。令和6年度は、新型コロナウイルスの影響により減少していた利用者数が平成30年度比で約8割まで回復した。

I 施設の概要		施設コード	S05-03-05	
施設名	区民運動場			
所在地	西尾久三丁目14番3号			
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)	
			国・都	区債
	一般財源			
建築	昭和54年3月			
増改築①	平成27年4月	370,000		
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	昭和54年3月			その他
供用開始年月日	昭和54年3月	職員数	0	1
構造		階層		
面積	敷地面積			7,339 m ²
	延床面積			569 m ²
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。			
関連部署	教育委員会事務局 教育施設課			
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例			
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ
駐輪場の状況	20台	対応状況	○点字ブロック	●スロープ



管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり 下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理業務（管理事務所・多目的グラウンド・小広場・駐輪場） ：シルバー人材センター（R7. 4. 1～R8. 3. 31） ②補修業務（多目的グラウンド・小広場・駐輪場）：株式会社エクシズ（R7. 4. 1～R8. 3. 31） ③清掃業務（管理事務所）：新菱ビルサービス（R6. 4. 1～R9. 3. 31）					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	土日祝の9:00～17:00（5月～9月は1時間延長可）				
	休日	平日、年末年始12/29～1/3、土日祝の学校行事及び授業公開日等				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）	令和7年度（見込み）
	多目的グラウンド利用者数	9,306	10,340	10,318	10,054	10,556
	小広場利用者数	1,292	1,566	1,524	1,574	1,652
	多目的グラウンド（件数）	423	470	469	457	480
	小広場（件数）	646	783	762	787	820
	稼働率（多目的）	95	100	99	100	100
	稼働率（小広場）	74	88	83	85	90
	開場日数	99	116	106	115	117
	委託料（円）	6,842,818	6,822,339	6,950,085	7,282,986	7,690,697
に指定等管理費理						
備考	平日は尾久八幡中学校が校庭として利用しているため、土日祝日のみの利用となる。利用者数については、コロナ禍以前まで回復し、10,000人を超える形で横ばいとなっている。					

行政コスト計算書	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0		
		物件費	7,441	7,753	312		国庫支出金	0	0	0		
		維持補修費	0	113	113		都支出金	0	0	0		
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0		
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	712	717	5		
		減価償却費	30,940	30,940	0		その他	0	0	0		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	712	717	5		
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 37,669	▲ 38,089	▲ 420		
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0				
行政費用合計(b)	38,381	38,806	425	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 37,669	▲ 38,089	▲ 420					
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0					
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 37,669	▲ 38,089	▲ 420					
貸借対照表	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0		
		不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0		
		その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	0	0	0		
	固定資産	有形固定資産	1,010,606	979,666	▲ 30,940	固定負債	その他の流動負債	0	0	0		
		土地	709,032	709,032	0		固定負債	0	0	0		
		建物	217,754	217,754	0		特別区債	0	0	0		
		建物減価償却累計額	▲ 64,673	▲ 70,552	▲ 5,879		退職給与引当金	0	0	0		
		工作物等	374,039	374,039	0		その他の固定負債	0	0	0		
		工作物等減価償却累計額	▲ 225,545	▲ 250,606	▲ 25,061		負債の部合計	0	0	0		
無形固定資産		0	0	0	正味財産		1,010,606	979,666	▲ 30,940			
建設仮勘定		0	0	0	正味財産の部合計		1,010,606	979,666	▲ 30,940			
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	1,010,606	979,666	▲ 30,940					
資産の部合計	1,010,606	979,666	▲ 30,940									

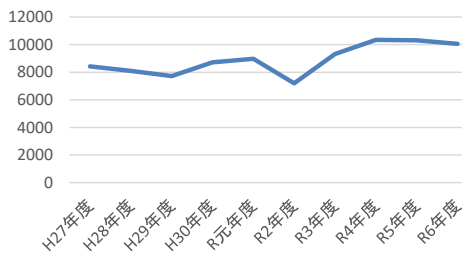
令和6年度に区民運動場防球ネット修繕を行っているため、維持補修費がかかっている。行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち、委託料(日常補修業務、清掃業務、管理業務)が大部分を占めている。

	指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価却率(%)	39	44	49.0	54.3	
	1㎡当たりコスト(円)	5,415	5,444	5,230	5,288	
	受益者負担比率(%)	2	2	2	1.8	
	開館1日当たりコスト(円)	401,404	344,405	362,085	337,443	
	利用者1件当たりコスト(円)	3,750	3,356	3,241	3,337	
	区民1人当たりコスト(円)	185	186	179	181	
備考	各コストとも、令和6年度まで大きな変動なく推移している。1日あたりコストがほかの運動場と比較して高いのは、平日中学校として利用しており、土日祝日のみの稼働であるためである。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

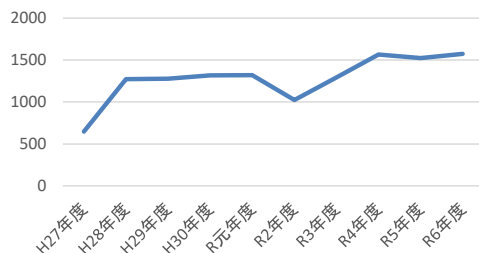
計画の有無	● 無 ○ 有		(計画名:)				
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	利用件数	目標値 実績値	— 1,069	— 1,253	— 1,231	— 1,244	1,270 —
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	区営スポーツ施設で唯一の人工芝グラウンドであり、雨天等においても利用可能であるなど利用しやすいことから利用者が多い。						
現状・課題	○駐輪場の駐輪可能台数が限られているため、利用者の多い大会開催時などは、対応が必要である。 ○人工芝や防球ネット等の設備について、適切な維持管理や修繕を行う必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○大会等の開催時には、学校のスペースを活用し、駐輪場スペースを確保する。 ○施設・設備について、日常的に維持管理を行っていくとともに、状態を確認し、計画的に修繕を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							

多目的グラウンド利用者数



令和4年度以降は、横ばいの利用者数になっている。

小広場利用者数



令和3年度から利用者数が回復し、令和6年度まで高い水準の利用者数となっている。

令和7年度 施設分析シート

Ⅰ施設の概要		施設コード		S05-03-04	
施設名		東尾久運動場			
所在地		東尾久七丁目1番1号			
部課名		地域文化スポーツ部スポーツ振興課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成3年5月			
	増改築①	平成30年9月			
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成3年5月		区職員	その他	
供用開始年月日	平成3年5月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積			29,195	㎡
	延床面積			114	㎡
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	60台	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	約90台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



Ⅱ管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から	
				下記のとおり	まで	
事業内容	①管理：テニ5面（人工芝）、小広場、スリ-オンズ、多目的広場：シルバー人材センター（R7. 4. 1～R8. 3. 31）					
	②補修：テニ5面（人工芝）、小広場、スリ-オンズ、多目的広場：株式会社フジクリーン（R7. 4. 1～R8. 3. 31）					
	③駐車場管理運営業務：株式会社 アクト（R6. 4. 1～R11. 3. 31）					
	④多目的広場トイレ清掃：シルバー人材センター（R7. 4. 1～R8. 3. 31）					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	4～9月9:00～18:00、10～3月9:00～17:00（4～10月土日祝7:00～、11～12月土日祝8:00～）				
	休日	年末年始12/29～1/3				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
	庭球場、多目的広場等利用者数	49,317	34,868	50,641	50,306	52,820
	庭球場、多目的広場等（件数）	11,343	8,717	11,536	10,662	11,195
	稼働率（庭球場）	60	60	57	60	62
	稼働率（多目的）	61	75	71	75	75
	開場日数	344	358	360	362	359
	委託料（円）	25,561,701	23,653,536	24,888,584	24,420,814	31,729,709
に指定 用係等 管理費						
備考	令和4年度は庭球場の人工芝の張替工事を実施したことにより、利用件数が減少した。令和6年度について全体の利用件数は減少したが、多目的広場の利用件数が増加したため、利用者数は同水準を維持している。					

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

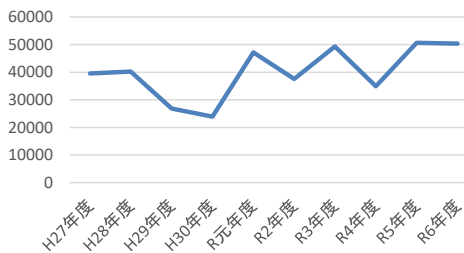
	勘定科目	R5年度	R6年度	差額		勘定科目	R5年度	R6年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0
	物件費	31,043	31,067	24		国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	381	155	▲ 226		都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	16,473	16,039	▲ 434
	減価償却費	10,833	9,924	▲ 909		その他	47	51	4
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	16,520	16,090	▲ 430
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 25,737	▲ 25,056	681
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	42,257	41,146	▲ 1,111		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 25,737	▲ 25,056	681
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 25,737	▲ 25,056	681
貸借対照表	勘定科目	R5年度	R6年度	差額	流動負債	勘定科目	R5年度	R6年度	差額
	収入未済	0	0	0		還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	79,720	70,215	▲ 9,505		その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0		固定負債	0	0	0
	建物	43,776	43,776	0		特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 28,853	▲ 29,443	▲ 590		退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	139,932	139,932	0		その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 75,135	▲ 84,050	▲ 8,915		負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0		正味財産	80,977	80,333	▲ 644
	建設仮勘定	0	9,280	9,280		正味財産の部合計	80,977	80,333	▲ 644
備考	その他の固定資産	1,257	838	▲ 419		負債及び正味財産の部合計	80,977	80,333	▲ 644
	資産の部合計	80,977	80,333	▲ 644	行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料（日常管理・補修業務、貸出業務、駐車場の運営業務等）が大部分を占めている。維持補修費は家屋等修繕費が多くかかっている。令和5年度から維持補修費が減少しているのは、修繕件数は増加したものの、小破的なものが占めているためである。				

	指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価却率(%)	49	51	57	61.8	
	1㎡当たりコスト(円)	1,421	1,635	1,491	1,452	
	受益者負担比率(%)	46	34	39.0	39.0	
	開館1日当たりコスト(円)	117,006	129,363	117,381	113,663	
	利用者1人当たりコスト(円)	816	1,328	834	818	
	区民1人当たりコスト(円)	188	216	197	192	
備考	各コストとも大きな変動なく推移している。また、行政費用が減少したため開館1日当たりコスト及び利用者1人あたりコストが微減している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

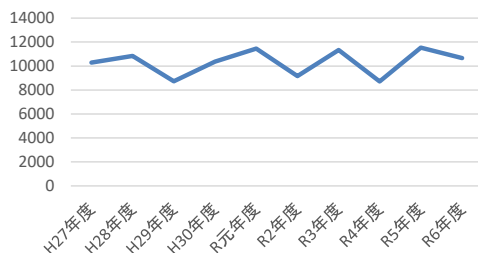
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	利用件数	目標値	-	-	-	-	12,000
		実績値	11,343	8,717	11,536	10,662	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	多目的広場、庭球場ともに平日も含め利用率が高い						
現状・課題	○庭球場については令和2年度及び令和4年度に人工芝張替え工事を実施した。 ○多目的広場について、利用者ニーズを踏まえ今後の方向性を定めていく必要がある。						
課題に対する 現時点での考え	○多目的広場の人口芝化にむけて、各方面と連携を強化していく必要がある。						
議会、利用者等 からの意見	○平成29年度決特 多目的広場の人工芝化について フェンスの高さの検討について ○令和5年度6月会議 小広場の日除け設置、多目的広場の人工芝化について						

庭球場、多目的広場等利用者数



令和3年度から令和4年度にかけて、利用者数は減少したが、令和5年度において、利用者数が再び増加し、令和6年度は横ばいの数値となっている。

庭球場、多目的広場等(件数)



令和4年度は庭球場DE面人工芝張替え工事等による休場により減少した。令和6年度は利用件数は減少したが、コロナ禍以前の数値に戻っている。

I 施設の概要		施設コード		S05-03-03		
施設名		南千住野球場				
所在地		南千住六丁目4番6号				
部課名		地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴		時期		財源内容（単位：千円）		
		建築費 (単位：千円)		国・都	区債	一般財源
		建築	昭和57年7月	5,600,000		
		増改築①				
		増改築②				
併設施設						
竣工年月日		昭和57年7月		区職員	その他	
供用開始年月日		昭和57年7月	職員数			
構造			階層			
面積		敷地面積		17,415	m ²	
		延床面積			m ²	
設置目的・経緯		区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署						
根拠法令等 設置条例		荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況		57台	バリアフリー	エレベーター	トイレ	
駐輪場の状況		208台	対応状況	点字ブロック	スロープ	



管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から	
				下記のとおり	まで	
事業内容	①体育施設受付及び貸出業務（野球場2面）：荒川スポーツマネジメント共同事業体（R7.4.1～R12.3.31） ②補修管理（野球場2面、外周）：株式会社ケルンビルシステム（R7.4.1～R8.3.31）					
対象者	一般区民他、区民以外も可					
運営時間等	運営時間	4～10月9:00～20:45（日・祝は7:00～）、11～2月9:00～15:30、3月9:00～17:30				
	休日	年始1/1～1/3				
施設基本データ等	野球場利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
		18,252	20,538	22,176	21,888	22,982
	野球場（件数）	1,014	1,141	1,232	1,216	1,276
	稼働率	37	39	42	42	45
	開場日数	347	362	363	362	362
	委託料（円）	11,709,275	9,092,820	11,692,065	10,254,662	13,900,094
に指定等 に係る管理費						
備考	利用件数について、スポーツセンターの改修や新型コロナウイルス感染拡大の影響で減少したが、令和6年度については減少したものの昨年度とほとんど変わらない水準となっている。					

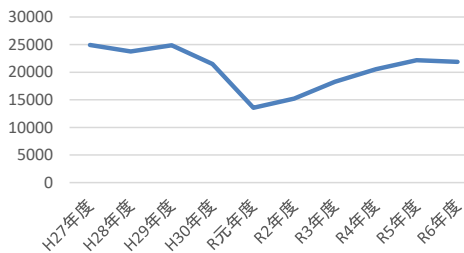
行政コスト計算書	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	行政費用	給与関係費		0	0	0	行政収入	地方税等		0	0	0
		物件費		11,185	11,651	466		国庫支出金		0	0	0
		維持補修費		296	386	90		都支支出金		0	0	0
		扶助費		0	0	0		分担金及び負担金		0	0	0
		補助費等		0	0	0		使用料及び手数料		2,384	2,095	▲ 289
		減価償却費		743	1,388	645		その他		0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0		行政収入合計(a)		2,384	2,095	▲ 289
		賞与・退職給与引当金繰入額		0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 12,924	▲ 11,330	1,594
	その他行政費用		3,084	0	▲ 3,084	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		15,308	13,425	▲ 1,883	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 12,924	▲ 11,330	1,594			
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 12,924	▲ 11,330	1,594			
貸借対照表	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	流動資産	収入未済		0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金		0	0	0		還付未済金		0	0	0
		その他の流動資産		0	0	0		特別区債		0	0	0
	固定資産	有形固定資産		3,079,534	3,096,642	17,108	固定負債	賞与引当金		0	0	0
		土地		3,066,735	3,066,735	0		その他の流動負債		0	0	0
		建物		0	0	0				0	0	0
		建物減価償却累計額		0	0	0		特別区債		0	0	0
		工作物等		363,990	384,095	20,105		退職給与引当金		0	0	0
		工作物等減価償却累計額		▲ 351,191	▲ 354,187	▲ 2,996		その他の固定負債		0	0	0
無形固定資産			0	0	0	負債の部合計			0	0	0	
建設仮勘定			0	0	0	正味財産			3,079,534	3,096,642	17,108	
その他の固定資産		0	0	0	正味財産の部合計		3,079,534	3,096,642	17,108			
資産の部合計		3,079,534	3,096,642	17,108	負債及び正味財産の部合計		3,079,534	3,096,642	17,108			
備考	行政費用では、物件費が多くなっており、そのうち委託料(日常補修業務、照明点検等)が大部分を占めている。維持補修費は、A面側防球フェンスや散水設備の修繕により増となっている。また、令和5年度のその他行政費用は、A面防球ネットの改修による工事請負費である。											

財務指標・評価指標等	指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	有形固定資産減価償却費(%)	97.0	97	97	92.2	
	1㎡当たりコスト(円)	1,586	746	879	771	
	受益者負担比率(%)	7	18	16	15.6	
	開館1日当たりコスト(円)	79,582	35,887	42,171	37,086	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,513	633	690	613	
	区民1人当たりコスト(円)	129	61	71	63	
備考	行政費用が昨年度から減少したため、数値が全体的に減となっている。他の野球場と比較して1人当たりにかかるコストが低いのは、平日昼間の稼働率が他と比較して高いためである。また、令和3年度の開館1日あたりコストが大きいのはB面防球ネット改修工事を行ったためである。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

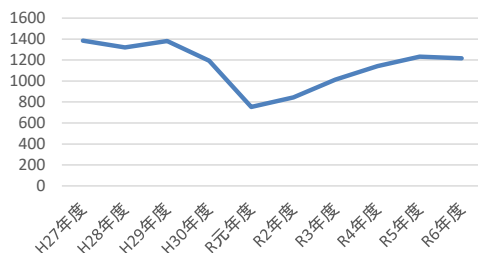
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	利用件数	目標値 実績値	- 1,014	- 1,141	- 1,232	- 1,216	1,260 -
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	社会人野球チームや学生の利用により、平日昼間の利用率が高い。						
現状・課題	○野球場は区道、民間住宅に隣接しているため、防球ネット等の安全対策が必要である。 ○野球場外周の樹木に害虫が発生しやすく、また落ち葉が民間住宅に飛ばされているため、剪定や消毒などの対策が必要である。						
課題に対する現時点での考え	○施設の安全対策として、剪定や防球ネットのメンテナンスを実施する。						
議会、利用者等からの意見							

野球場利用者数



令和6年度利用者数は令和5年度と比較して、減少したが一定の水準を維持している。

野球場(件数)



令和6年度利用件数は令和5年度と比較して、減少したが一定の水準を維持している。

I 施設の概要		施設コード	S05-03-08		
施設名	少年運動場				
所在地	足立区小台一丁目22番地先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和45年11月			
	増改築①	平成28年1月	79,380		
	増改築②	令和5年2月	14,905		
併設施設					
竣工年月日	昭和45年11月		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和45年11月	職員数	0	1	
構造		階層			
面積	敷地面積		47,647 m ²		
	延床面積		m ²		
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場状況	92台	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場状況	約290台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	下記のとおり	から まで
事業内容	①管理・補修業務(少年野球場7面、サッカー場1面、多目的広場1面、駐車場) : 株式会社 中田興業 (R7. 4. 1~R8. 3. 31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場): シルバー人材センター (R7. 4. 1~R8. 3. 31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00				
	休日	年末年始12/29~1/3				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(見込み)
	野球場、サッカー場等利用者数	86,962	97,486	91,902	96,292	101,166
	野球場、サッカー場等(件数)	4,595	5,158	4,861	5,090	5,344
	稼働率(野球場)	28	31	30	31	40
	稼働率(サッカー場)	26	29	26	31	35
	稼働率(多目的)	35	39	35	36	40
	開場日数	344	358	360	362	355
	委託料(円)	35,237,071	34,294,984	35,219,703	31,075,189	34,791,184
に係る管理費						
備考	利用件数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したが、令和3年度から4年度にかけて増加して以降は、コロナ禍よりも高い水準にとどまっている。					

行政コスト計算書	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	行政費用	給与関係費		0	0	0	行政収入	地方税等		0	0	0
		物件費		34,052	29,844	▲ 4,208		国庫支出金		0	0	0
		維持補修費		119	93	▲ 26		都支出金		0	0	0
		扶助費		0	0	0		分担金及び負担金		0	0	0
		補助費等		0	0	0		使用料及び手数料		836	799	▲ 37
		減価償却費		1,410	1,410	0		その他		0	0	0
		不納欠損・賞引当金繰入額		0	0	0		行政収入合計(a)		836	799	▲ 37
		賞与・退職給与引当金繰入額		0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 34,745	▲ 30,548	4,197
		その他行政費用		0	0	0		金融収支差額(d)		0	0	0
行政費用合計(b)			35,581	31,347	▲ 4,234	通常収支差額(c)+(d)=(e)			▲ 34,745	▲ 30,548	4,197	
特別費用(g)			0	0	0	特別収入(f)			0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)			▲ 34,745	▲ 30,548	4,197	
貸借対照表	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	流動資産	収入未済		0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金		0	0	0		還付未済金		0	0	0
	固定資産	その他の流動資産		0	0	0	特別区債		0	0	0	
		有形固定資産		31,202	29,792	▲ 1,410	賞与引当金		0	0	0	
		土地		0	0	0	その他の流動負債		0	0	0	
		建物		28,479	28,479	0	固定負債		0	0	0	
		建物減価償却累計額		▲ 4,075	▲ 5,015	▲ 940	特別区債		0	0	0	
		工作物等		74,848	74,848	0	退職給与引当金		0	0	0	
		工作物等減価償却累計額		▲ 68,049	▲ 68,520	▲ 471	その他の固定負債		0	0	0	
無形固定資産			0	0	0	負債の部合計		0	0	0		
建設仮勘定			0	0	0	正味財産		31,202	29,792	▲ 1,410		
その他の固定資産			0	0	0	正味財産の部合計			31,202	29,792	▲ 1,410	
資産の部合計			31,202	29,792	▲ 1,410	負債及び正味財産の部合計			31,202	29,792	▲ 1,410	

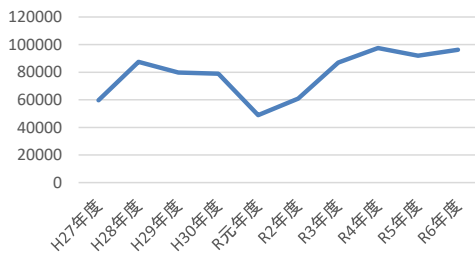
備考	行政費用では、物件費が多くなっている。そのうち委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)が大部分を占めており、令和6年度は微減している。令和5年度と6年度の物件費の差額については、西新井橋野球場、少年運動場管理保守業務委託の金額が減少したことが影響している。
----	---

	指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	79	68	70	71.2	
	1㎡当たりコスト(円)	142	105	747	658	
	受益者負担比率(%)	12	19.0	2	2.5	
	開館1日当たりコスト(円)	19,706	14,006	98,836	86,594	
	利用者1人当たりコスト(円)	78	51	387	326	
	区民1人当たりコスト(円)	32	23	166	146	
備考	令和6年度は、行政費用が減少し、利用人数及び利用件数が増加したことに伴い、全体的にコストは減となっている。令和5年度は、西新井橋野球場、少年運動場管理保守業務委託及びし尿収集運搬委託の按分計数を見直したことにより、全体的に大幅な増加となっている。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

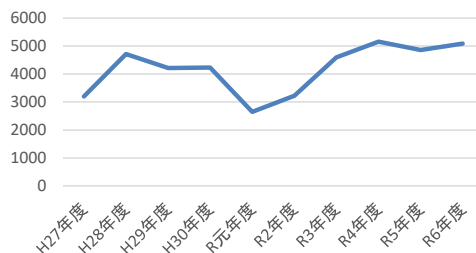
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	利用件数	目標値	-	-	-	-	5,200
		実績値	4,595	5,158	4,861	5,090	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合			○ 廃止	
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	少年野球7面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。						
現状・課題	○河川敷に設置されていることから、台風等による河川の氾濫の恐れがある場合、被害を最小限に留めるための対策を講じる必要がある。 ○グラウンドに不陸が生じており、水はけが悪く、水溜りができてしまう。						
課題に対する現時点での考え	○河川増水時の対応をマニュアル化し、訓練を行うことで、増水時の速やかな対応につなげる。 ○不陸整正をするなど、水はけの改善を図る。						
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について						

野球場、サッカー場等利用者数



直近3年についてコロナ禍以前より高い水準となっている。

野球場、サッカー場等(件数)



利用件数は昨年度から増加し、令和6年度実績はコロナ禍前の水準より高くなっている。

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード		S05-03-06		
施設名		荒川遊園運動場				
所在地		西尾久八丁目1番2号				
部課名		地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
			国・都	区債	一般財源	
	建築	昭和62年4月				
	増改築①	平成5年10月	140,000			
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日		平成5年4月		区職員	その他	
供用開始年月日		平成5年4月	職員数	0	1	
構造			階層			
面積	敷地面積		5,430 m ²			
	延床面積		m ²			
設置目的・経緯		区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署						
根拠法令等 設置条例		荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	○エレベーター	○トイレ		
駐輪場の状況	無		○点字ブロック	○スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から	
				下記のとおり	まで	
事業内容	①受付・開閉場（運動場）：株式会社日新ウエルネス（R7. 4. 1～R8. 3. 31） ②補修業務（運動場）：株式会社北川商会（R7. 4. 1～R8. 3. 31） ③樹木剪定（運動場・スポーツハウス）：六創園（R6. 4. 1～R7. 3. 31）					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	9:00～20:00（日・祝は7:00～20:00）				
	休日	年末年始12/29～1/3				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
	運動場利用者数	18,660	21,200	19,060	9,760	20,013
	運動場（件数）	933	1,060	953	488	1,000
	稼働率	62	64	64	63	65
	開場日数	321	359	360	194	362
	委託料（円）	10,160,699	9,216,064	10,467,783	9,120,518	10,150,366
に指定 用係等 管理費理						
備考	利用者数については、令和6年度は防球フェンス改修工事実施の影響のため、前年度と比較して大幅に減少している。					

III 財務諸表

(単位:千円)

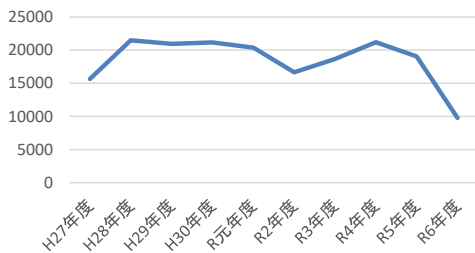
	勘定科目	R5年度	R6年度	差額		勘定科目	R5年度	R6年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0
	物件費	10,268	10,278	10		国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	248	0	▲248		都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	1,364	574	▲790
	減価償却費	75	75	0		その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	1,364	574	▲790
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲9,227	▲88,945	▲79,718
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	79,166	79,166		金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	10,591	89,519	78,928		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲9,227	▲88,945	▲79,718
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲9,227	▲88,945	▲79,718
貸借対照表	勘定科目	R5年度	R6年度	差額	流動負債	勘定科目	R5年度	R6年度	差額
	収入未済	0	0	0		還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	3,619	62,434	58,815		その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0		固定負債	0	0	0
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0		退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	144,005	202,895	58,890		その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲140,386	▲140,461	▲75		負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0		正味財産	13,519	62,434	48,915
	建設仮勘定	9,900	0	▲9,900		正味財産の部合計	13,519	62,434	48,915
備考	その他の固定資産	0	0	0		負債及び正味財産の部合計	13,519	62,434	48,915
	資産の部合計	13,519	62,434	48,915	令和6年度は遊園運動場防球フェンス改修工事を実施し、その他行政費用がかかっている。行政費用では、物件費が多 くかかっており、そのうち委託料(日常管理・補修業務、外周樹木剪定)が大部分を占めている。				

指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
有形固定資産減価償却費(%)	97	97	98	69.2	
1㎡当たりコスト(円)	2,845	1,845	1,950	16,486	
受益者負担比率(%)	7	14	13	0.6	
開館1日当たりコスト(円)	48,134	27,903	29,419	461,438	
利用者1人当たりコスト(円)	828	473	556	9,172	
区民1人当たりコスト(円)	72	47	49	417	
備考	令和6年度は防球フェンスの改修を実施したため、行政費用の増により各コストが高くなっている。また、令和6年度は防球フェンス改修工事の影響で開場日数が減少したため、開館1日あたりコストが大幅に増加している。施設規模が大きくないため、他の施設と比較して低コストで運営ができています。				

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

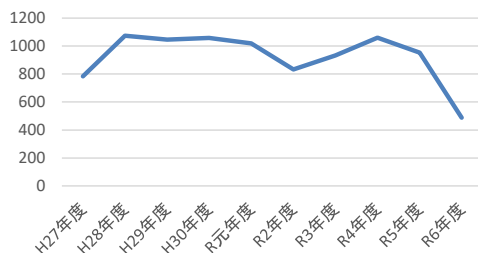
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	利用件数	目標値	—	—	—	—	1,000
		実績値	933	1,060	953	488	—
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	野球、サッカー以外にも、ゲートボール、地域のイベントなど様々な活用がなされている。						
現状・課題	○多目的（サッカー・野球・地域のイベント等）での利用が可能であるため、各団体ごとに求めるグラウンド条件が異なる。 ○強風時に砂ぼこりが発生することがある。 ○グラウンドに不陸が生じており、水はけが悪く、水溜りができてしまう。						
課題に対する現時点での考え	○各団体と調整を図るなど運動場の特性を生かした運用を図る。 ○強風が予想される際には、利用者と協力するなどしてこまめに散水を行い、砂ぼこりの発生を防ぐ取組を継続していく。 ○不陸整正をするなど、水はけの改善を図る。						
議会、利用者等からの意見	○平成29年度決特 平日の運動場の開放について						

運動場利用者数



防球フェンス改修工事实施に伴う休場の影響により、令和5年度から令和6年度にかけて利用者数が減少している。

運動場(件数)



防球フェンス改修工事实施に伴う休場の影響により、令和5年度から令和6年度にかけて利用件数が減少している。

I 施設の概要		施設コード	S05-03-07	
施設名	西新井橋野球場			
所在地	足立区千住元町36番7号先			
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)	
			国・都	区債
			一般財源	
	建築	昭和34年4月		
	増改築①	平成27年5月	101,079	
	増改築②			
併設施設				
竣工年月日	昭和34年4月		区職員	その他
供用開始年月日	昭和34年4月	職員数	0	1
構造		階層		
面積	敷地面積		35,057	m ²
	延床面積			m ²
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例			
駐車場の状況	50台	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ
駐輪場の状況	約150台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ



管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理・補修業務(大人野球場5面、駐車場)：株式会社 中田興業 (R7. 4. 1～R8. 3. 31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場)：シルバー人材センター (R7. 4. 1～R8. 3. 31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間 休日	4～9月6:00～18:00、10・3月7:00～17:00、11～2月8:00～16:00 年末年始12/29～1/3				
施設基本データ等	野球場利用者数	令和3年度 20,718	令和4年度 18,936	令和5年度 23,904	令和6年度 24,138	令和7年度(見込み) 25,344
	野球場(件数)	1,151	1,052	1,328	1,341	1,408
	稼働率	12	12	15	15	15
	開場日数	344	359	360	362	355
	委託料(円)	20,830,081	23,893,902	26,136,282	23,575,179	26,391,143
に指定 係定 等管理 費理						
備考	令和4年度以降、利用者数及び利用件数が増加している。					

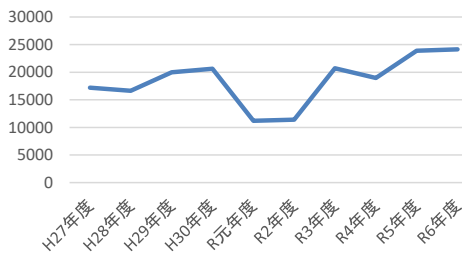
		勘定科目	R5年度	R6年度	差額	勘定科目	R5年度	R6年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	27,711	24,858	▲ 2,853	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	40	40	都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	587	604	17
		減価償却費	7,220	7,220	0	その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	587	604	17
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 34,344	▲ 31,514	2,830
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	34,931	32,118	▲ 2,813	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 34,344	▲ 31,514	2,830
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 34,344	▲ 31,514	2,830		
貸借対照表	流動資産	勘定科目	R5年度	R6年度	差額	勘定科目	R5年度	R6年度	差額
		収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	有形固定資産	57,884	50,664	▲ 7,220	賞与引当金	0	0	0	
	土地	993	993	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	14,660	14,660	0	固定負債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	▲ 4,670	▲ 5,118	▲ 448	特別区債	0	0	0	
	工作物等	101,223	101,223	0	退職給与引当金	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	▲ 54,322	▲ 61,095	▲ 6,773	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	57,884	50,664	▲ 7,220	
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	57,884	50,664	▲ 7,220	
	資産の部合計	57,884	50,664	▲ 7,220	負債及び正味財産の部合計	57,884	50,664	▲ 7,220	
備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)が大部分を占めている。令和5年度と6年度の物件費の差額については、西新井橋野球場、少年運動場管理保守業務委託の金額が減少したことが影響している。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和6年度は微増となっている。								

	指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	38	45	51	57.1	
	1㎡当たりコスト	1,653	1,759	996	916	
	受益者負担比率(%)	1	1.0	2	1.9	
	開館1日当たりコスト(円)	168,416	171,744	97,031	88,724	
	利用者1人当たりコスト(円)	2,796	3,256	1,461	1,331	
	区民1人当たりコスト(円)	270	287	163	150	
備考	開館1日当たり、利用者1人当たりコストが高いのは、大人専用であることや区内から比較的距離が離れているため、特に平日の利用が少ないことによるものである。					

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

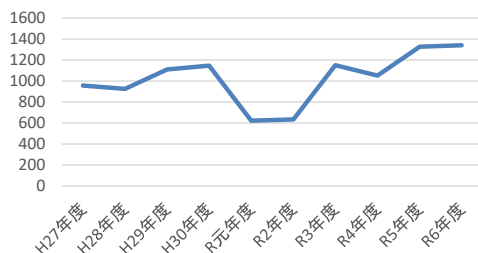
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	利用件数	目標値	-	-	-	-	1,350
		実績値	1,151	1,052	1,328	1,341	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合			○ 廃止	
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	大人の軟式野球会場として5面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。						
現状・課題	○河川敷に設置されていることから、台風等による河川の氾濫の恐れがある場合、被害を最小限に留めるための対策を講じる必要がある。						
課題に対する 現時点での考え	○河川増水時の対応をマニュアル化し、訓練を行うことで、増水時の速やかな対応につなげる。						
議会、利用者等 からの意見							

野球場利用者数



令和4年度以降、利用者数が増加しており、コロナ禍以前の数値を上回っている。

野球場(件数)



令和4年度以降、利用件数が増加しており、コロナ禍以前の数値を上回っている。